

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 1 部門第 2 区分

【発行日】平成 29 年 2 月 16 日 (2017.2.16)

【公開番号】特開 2016-179271 (P2016-179271A)

【公開日】平成 28 年 10 月 13 日 (2016.10.13)

【年通号数】公開・登録公報 2016-059

【出願番号】特願 2016-137362 (P2016-137362)

【国際特許分類】

A 6 3 F 5/04 (2006.01)

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 5/04 5 1 2 Z

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

A 6 3 F 5/04 5 1 2 C

【手続補正書】

【提出日】平成 29 年 1 月 16 日 (2017.1.16)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行うことが可能な遊技機であって、  
 回路基板を収納する第 1 部材及び第 2 部材からなる基板ケースと、  
 前記第 1 部材と前記第 2 部材とを封止状態とするために用いられる封印シールと、  
 を備え、  
 前記封印シールは、  
 該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消える溶剤変化部と、  
 封印シールを識別可能な識別情報が表示された第 1 識別情報表示部と、  
 識別情報が符号化されることにより表示された第 2 識別情報表示部と、  
 偽造を防止するためのホログラム表示部と、  
 を有し、  
 前記基板ケースに貼付されたときに互いに同方向を向く部分に前記溶剤変化部、前記第 1 識別情報表示部、前記第 2 識別情報表示部及び前記ホログラム表示部の少なくとも一部が配置され、  
 前記第 1 識別情報表示部と前記第 2 識別情報表示部とは、前記所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消えないものである  
 ことを特徴とする遊技機。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0010

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0010】

前記課題を解決するために、本発明の請求項 1 に記載の遊技機は、

遊技を行うことが可能な遊技機であって、  
回路基板を収納する第 1 部材及び第 2 部材からなる基板ケースと、  
前記第 1 部材と前記第 2 部材とを封止状態とするために用いられる封印シールと、  
を備え、  
前記封印シールは、  
該封印シールの粘着力を低下させるために所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消える溶剤変化部と、  
封印シールを識別可能な識別情報が表示された第 1 識別情報表示部と、  
識別情報が符号化されることにより表示された第 2 識別情報表示部と、  
偽造を防止するためのホログラム表示部と、  
を有し、  
前記基板ケースに貼付されたときに互いに同方向を向く部分に前記溶剤変化部、前記第 1 識別情報表示部、前記第 2 識別情報表示部及び前記ホログラム表示部の少なくとも一部が配置され、  
前記第 1 識別情報表示部と前記第 2 識別情報表示部とは、前記所定の溶剤が用いられたときに表示内容が消えないものである  
ことを特徴としている。  
この特徴によれば、不正行為を抑制することができる。